

米失業率は3カ月連続で低下

ポイント① 雇用の改善ペースは鈍化

8月7日発表の7月の米国雇用統計によれば、失業率は10.2%と3カ月連続で低下しました。非農業部門の就業者数は前月比176万人増加しました。ただ、失業率の低下幅や就業者の増加数は5、6月に比べて小幅であり、雇用の改善ペースは鈍化しました。就業者は3、4月の減少分に対して、5～7月の増加分は4割程度に留まっています。

ポイント② 企業景況感は改善

一方、7月の米ISM（サプライマネジメント協会）景況感指数は、製造業、非製造業とも前月から上昇しました。製造業は2019年3月以来、非製造業は2019年2月以来の水準に上昇しています。

ただし、景況感指数は前月から改善したかどうかを基準にしているため、一旦大幅に景況感が悪化したあと、大きく反発する傾向があることは多少割り引いて見る必要があります。

ポイント③ 雇用は大統領選の一大争点

米国では新型コロナウイルスの感染抑制のために経済活動を制限する措置が、5月頃から緩和されてきたことで、景気が回復に向かい始めました。しかし、感染が再拡大したことで、7月頃から経済活動再開の動きが一部の地域で停止され、景気や雇用の回復が鈍る懸念も出ています。

雇用は11月3日の大統領選挙の大きな争点になりそうです。雇用の回復がさらに鈍れば、現職のトランプ大統領には不利に働くでしょう。感染状況を注視しつつ、経済活動再開の動きを進めるべきか、どのような景気刺激策を打ち出すべきか、というのがトランプ政権の課題となっています。

図1：米国の失業率と非農業部門就業者数

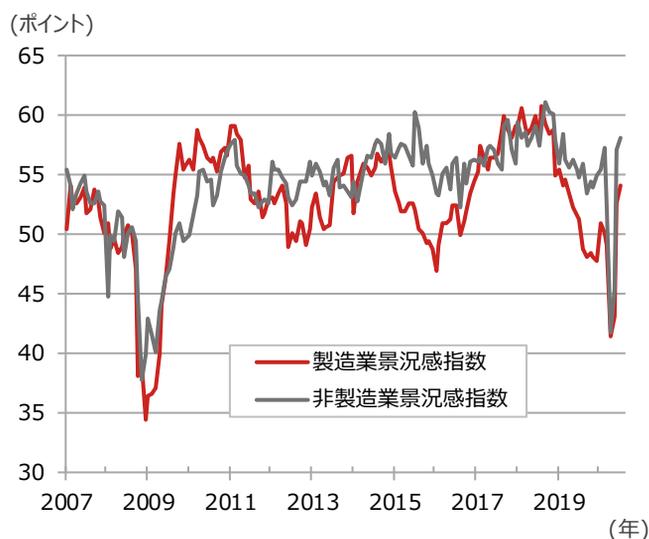
期間：2020年1月～2020年7月、月次

	失業率 (%)	非農業部門就業者数 (万人)	
		総数	前月比 増減
2020年			
1月	3.6	15,221	21.4
2月	3.5	15,246	25.1
3月	4.4	15,109	-137.3
4月	14.7	13,030	-2,078.7
5月	13.3	13,303	272.5
6月	11.1	13,782	479.1
7月	10.2	13,958	176.3

(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：米ISM景況感指数

期間：2007年1月～2020年7月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

8月14日 米鉱工業生産指数、米小売売上高（7月）
8月17～20日 米民主党全国大会

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。